

令和

3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

| | | | | | | | | |
|----------------|---|------|-------------|-------------------|---------------------------------------|------|----------------|--------|
| 事務事業名 | 消防関係団体育成事業 | 会計名称 | 一般会計 | | | 担当課 | 危機管理課 | |
| | | 予算科目 | 9 款 1 項 2 目 | 事業番号 | 3950 | 所属長名 | 宮崎栄司 | |
| 事業評価の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ） | | | 担当責任者名 | | | 神東利明 | |
| 法令根拠等 | 総務省消防庁からの通達 | | | 【開始】 令和／平成 17 年度 | | | | |
| 総合計画での位置付け | 快適空間都市の創造 安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり | | | 実施期間 | | | 【終了】 令和 年度(予定) | ■ 設定なし |
| 総合計画における本事業の役割 | 市民の安全・安心の確保のため、防災体制の整備・充実を図る。 | | | | | | | |
| 事業の対象 | 消防団、幼年消防クラブ、婦人防火クラブ | | | 事業の目的 | 消防団本部、分団本部及び幼年消防クラブ、婦人防火クラブ団体への運営費等補助 | | | |
| 事業の内容(整備内容) | 各防火クラブ団体等に対し、運営費又は活動費の補助を行い、更なる防火意識の向上と防火防災啓発活動の推進を図ることを目的とする。 | | | 昨年度の課題に対する具体的な改善策 | | | | |

事業活動の内容・成果 (D0)

| 事業費及び財源内訳(千円) | | | | | | | 事業活動の実績(活動指標) | | | | | | |
|-------------------------|-----------|---|-------|--------|-------|-------|------------------------------------|------|-------|-------|--------|--------|--|
| 項目 | 前年度決算 | 当初予算額 | 補正予算額 | 継続費その他 | 翌年度繰越 | 決算額 | 項目 | 単位 | 前年度実績 | 3年度予定 | 9月末の実績 | 3年度実績 | |
| 直 接 事 業 費 | 543 | 666 | 0 | 0 | 0 | 545 | 団本部・分団本部運営費 幼年・婦人防火クラブ活動 補助金 | 千円 | 486 | 486 | 486 | 486 | |
| 財 源 内 訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| | 地 方 債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| | そ の 他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| | 一 般 財 源 | 543 | 666 | 0 | 0 | 545 | | | | | | | |
| 職員の人工(にんく)数 | 0.02 | 0.02 | | | | 0.02 | | | | | | | |
| 1人工当たりの入件費単価 | 7,812 | 7,841 | | | | 7,841 | | | | | | | |
| ※ 直接事業費+入件費 | 699 | 823 | | | | 702 | | | | | | | |
| 主な実施主体 | 直接実施 | 実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄) | | | | | | | | | | | |
| 向こう5年間の直接事業費の推移 (千円) | | | | | | | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 8年度 | 5年間の合計 | |
| 成 果 指 標 | 指 標 | 幼年防火クラブ及び婦人防火クラブの設置目標数(幼稚園2園、婦人7団体)に対する設立済み団体数の割合 | | | | 単位 | 区分年度 目標 実績 | 前 年度 | 3 年度 | 4 年度 | 目標 | 毎 年度 | |
| | | | | | | % | | 666 | 666 | 666 | 666 | 666 | |
| | 指標設定の考え方 | 幼年防火クラブ、婦人防火クラブ設置の進捗を測定する | | | | ⇒ | | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | |
| | 指標で表せない効果 | 防火意識の向上 | | | | | | 34 | 34 | | | | |

事務事業評価（CHECK）

| | | | | | | | | | |
|--------------------------------|-------------|-----|---|---|---|---|---|-------------|---|
| 新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過） | | | 消防団及び婦人防火クラブは、地域防災活動の担い手であり、特に婦人防火クラブは、クラブ員の全員が主婦であり、調理など火を使う機会が非常に多いことから、火災予防意識を持つことにより、火災発生を抑える効果は大きい。また、幼年消防クラブは、幼少期から火災予防意識を植え付けることにより、大人になってもその意識が保たれるため、重要であると認識している。 | | | | | | |
| 事務事業の評価 | 自己判定（担当責任者） | 妥当性 | 目的の妥当性 | 5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 3 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等への対応 | 4 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | A | 事業成果・工夫した点 | 幼年消防クラブにおいて、火災予防啓発を実施することにより、出火原因の上位にあった「子供の火遊びによる出火」がほぼなくなったことは、一定の成果があった。婦人防火クラブにおいては、コロナ禍により、活動が例年どおりに実施できなかった。 |
| | | | 社会情勢等への対応 | 5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 | 4 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | A | 事業の苦労した点・課題 | 消防団員や婦人防火クラブ員の高齢化対策。 |
| | | | 市の関与の妥当性 | 5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。 | 4 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | A | 事業の苦労した点・課題 | 消防団員や婦人防火クラブ員の高齢化対策。 |
| | | 有効性 | 事業の効果 | 5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 | 4 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | A | 事業の方向性 | ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 消防団及び婦人防火クラブ、幼年消防クラブの育成を支援することは、各層における防火意識の向上等につながることから、防災体制の整備・充実に必要な事業である。 |
| | | | 成果向上の可能性 | 5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 3 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 | 4 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | A | 所属長の課題認識 | |
| | 一次判定（所属長） | 妥当性 | 施策への貢献度 | 5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 施策推進に向け、効果を認めることができる。 2 1 施策推進につながっていない。 | 4 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | A | 事業の方向性 | ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 消防団及び婦人防火クラブ、幼年消防クラブの育成を支援することは、各層における防火意識の向上等につながることから、防災体制の整備・充実に必要な事業である。 |
| | | | 手段の最適性 | 5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 3 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 2 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。 | 4 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | A | 事業の方向性 | ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 消防団及び婦人防火クラブ、幼年消防クラブの育成を支援することは、各層における防火意識の向上等につながることから、防災体制の整備・充実に必要な事業である。 |
| | | 効率性 | コスト効率 | 5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 3 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 | 4 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | A | 事業の方向性 | ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 消防団及び婦人防火クラブ、幼年消防クラブの育成を支援することは、各層における防火意識の向上等につながることから、防災体制の整備・充実に必要な事業である。 |
| | | | 市民（受益者）負担の適正 | 5 他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 4 3 他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 2 1 他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 | 4 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | A | 事業の方向性 | ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 消防団及び婦人防火クラブ、幼年消防クラブの育成を支援することは、各層における防火意識の向上等につながることから、防災体制の整備・充実に必要な事業である。 |

| | | | | |
|---|------------------|--|--|---|
| 施 策 を 踏 ま え た 判 断 | 二 次 判 定 | <input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 <input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 <input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。 | |  <p>指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。</p> |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| | | |
|------------|------------------|-------|
| 行政評価委員会の答申 | 外 部 評 価 | 答申の内容 |
|------------|------------------|-------|

今後の方針性（ACTION）

| | | |
|----------------------------------|--------|--|
| の経 最 終 者 判 会 議 | 事業の方向性 | コメント欄 |
| | | <input type="checkbox"/> さらに重点化する。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 |
| | | <input type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。 |
| | | <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。 |
| | | <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。 |